

令和6年度 第2回匝瑳市社会教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和6年10月29日（火）
開会 午後1時53分 閉会 午後3時06分
- 2 場 所 野栄福祉センター 2階娯楽室
- 3 出席委員 石川浩之委員、依知川雅一委員、野仲哲二委員、角田利和委員、
橋口義範委員、伊藤敏江委員、江波戸八重子委員、溝口澄子委員
- 4 出席職員
(事務局) 教育長 二村好美
生涯学習課長 畔蒜稔行
公民館長・図書館長 川口義夫
生涯学習室長 石毛英広
スポーツ振興班副主幹（統括） 伊藤芳雄
- 5 開 会
- 6 社会教育委員会 議長あいさつ
- 7 教育長あいさつ
- 8 議 事
(1) 令和6年度匝瑳市生涯学習事業（9月末現在）の実施状況について
生涯学習関連事業 石毛室長、伊藤副主幹（統括）より説明。
公民館関連事業 川口館長より説明。
図書館関連事業 川口館長より説明。
- 8 その他 ・第59回千葉県社会教育振興大会の開催について
・第4回東総社会教育委員連絡協議会理事会の開催について
・第3回社会教育委員会 議の開催について
- 9 閉 会 詳細は別添会議資料による。

【協議内容】

議事（１）匝瑳市生涯学習事業（９月末現在）の実施状況について

委員Ａ： １ページの親子休日チャレンジの内容について教えてもらいたい。

事務局： 江戸流手打ちそば体験、夏休み陶芸体験、お菓子作り体験、太巻き寿司作り体験、しめ縄リース作り体験、親子でヨガ体験がある。

委員Ａ： ６ページの各種スポーツ・レクリエーション活動の開催について、現地までの交通手段として市バスなどを使うのか。参加費等は徴収しているのか。

事務局： ふれあい健康ウォーク春、アイススケート教室、ふれあい健康ウォーク秋は市バスを利用している。親子チャレンジフィッシングは飯岡漁港現地集合となっている。参加費は、ふれあい健康ウォーク春・秋で１００円を徴収し、保険代となっている。アイススケート教室はアクアリンクちばの入場料と保険代を徴収している。親子チャレンジフィッシングは釣り船を利用していることから、今年度は５，５００円を徴収している。

委員Ｂ： ５ページの各種スポーツ大会の今後の予定に匝瑳市長杯パークゴルフ大会があるが、市長杯グラウンドゴルフ大会のような大会開催の検討は可能か。

事務局： 次年度以降に検討したい。

委員Ｃ： 匝瑳市スポーツ協会にはどのような団体があるのか。５ページの各種スポーツ大会と関連するのか。

委員Ｄ： 匝瑳市スポーツ協会に加盟している団体は約２０団体だったと思う。その中で協会が中心となって大会を行っている。

委員Ｃ： 匝瑳市スポーツ協会の下にユニカール、サッカー、剣道協会などがあるということではいか。

委員Ｄ： 匝瑳市スポーツ協会は、各団体の取りまとめを行っている。

議長： ユニカールは入っていないのではないか。

委員Ｄ： ユニカールは野栄の団体である。

事務局： ユニカールは、のさかスポーツクラブに所属する団体である。スポーツ協会とは別である。

議 長： スポーツ協会に加盟している団体を示してほしい。

事務局： 次回の会議に議題があれば、団体を示したい。また、協会の大会の部分はわかるように示したい。

委員A： 9ページの公民館講座について、まだ開催していない教室は空欄にする方がよいと思う。見た瞬間、実施した結果が0であると印象を受ける。

事務局： 次回からは、空欄にすることで検討したい。

委員C： 7ページの公民館利用件数、利用人数は昨年と比較して増えているのは、コロナが要因であるのか。

事務局： 令和5年度の講座で7回実施のものを、要望により令和6年度は8回に増やした。また、コロナ禍前に戻りつつある。

委員C： 図書館について、八日市場図書館は夜間の開館があるが、のさか図書館は夜間の開館がない。利用者数が少ないから、のさか図書館は夜間の開館がないのか。

事務局： コロナ禍の際は、八日市場図書館、のさか図書館共に夜間の開館はしなかった。その後、夜間受付をシルバー人材センターへ業務委託し、八日市場図書館の夜間開館を再開した。のさか図書館の夜間の利用実績は数人であったことから、開館を見送っている。

委員A： 図書館協議会に出席し、協議会では夜間開館の要望が出たら検討するということになった。

委員C： のさか図書館2階の小ホールについて、図書館閉館後の夜間は利用可能か。

事務局： 持ち帰って検討する。

議 長： 7ページの公民館利用状況の令和5年度は、令和6年3月までの1年間なのか、令和5年9月までの半年間なのかどちらなのか。

事務局： 令和5年9月までの数字である。次回から表記を変える。

議 長： 他に御意見等がないようですので、以上で協議を終了いたします。